



# アメリカ合衆国

## コネチカット州 グリニッジ

2016年8月～ 2018年8月滞在  
(2021年記)

子どもの年齢 長女 中3～高2 長男 中1～中3  
次男 小4～小6

### 基本情報

気温	6月～8月 20℃～30℃ 10月～4月 -10℃～15℃
緊急電話	911
電圧	120V
水	飲み水も水道水を使用

### 買い物

日本の物	STANFORD に FUJIMART という日本食品店があり、高いが食品に関しては欲しいものは大体揃っている また MITSUWA という大きな日本のスーパーが NEW JERSEY にある
食料品	安いスーパーからオーガニック中心のスーパーまで何か所もある
日用雑貨	和の物やこだわりの物がなければ何でも手に入る お弁当箱や水筒もあるが、高いのでこれらのものは持っていくと良い
学用品	最低限必要な物は手に入るが、日本の文房具やノートの質の方が良い 現地校の場合は紙のサイズや穴の数が違うので、バインダー等は現地で購入したほうが良い
衣類	子供の下着類の質は良くないので持って行った方が良い 隣町の STANFORD に大きなモールがあり、そこで大体のものは手に入る

### 交通

公共交通	バスは主要道路には通っている 電車はメトロノースというもので、グランドセントラルまで行ける
運転免許	必ず必要 切り替えの際はペーパーと路上テストの両方を受ける

### 住居

住宅事情	日本人が多く住むエリアはアメリカ有数の高級住宅地で一軒家がほとんどであり、会社補助の家賃内で探すのは難しい
日本人が多く住むエリア	Old Greenwich, Cos Cob
使用人	基本なし 庭の手入れと雪かきは家主より派遣される
治安 セキュリティ	治安がいいとされているが、現地の人に“高校生の女子の一人歩きを何時頃なら許すか”と聞いたところ “せいぜい 16 時半”との答えだったので、日本人の考える常識とは違う 13 歳までは留守番禁止。その年齢以下で留守番していること知られると通報されることがある

## 教育

通った学校	International School at Dundee (現地校) Eastern Middle School (現地校) Greenwich High School (現地校) ニューヨーク日本人学校
通った学校の 詳細	この地域は公立学校のレベルがとても高く、Greenwich High School から進学する大学もかなり良い勉強だけでなく音楽や芸術面の力も伸ばすことを重視しているので、小学校のうちから楽器やコーラスの課外授業を受けることができる Middle, High school になると学校をあげて劇やミュージカル、コンサートに取り組むので、子供たちは日本にはないいろんな貴重な経験ができる 日本人学校のレベルもかなり高く、帰国後の進学先も良い
塾	車で 15 分～30 分(渋滞による)のところには日本の大手塾がある
家庭教師	個人が教える個別教室がある
習い事	希望する習い事はなんでもある
アドバイス	この地域に住むのでしたら必ずしも現地校でなくても良く、日本人学校、慶応 NY といろいろと選択肢があります。その子にとって一番希望の学校生活が送れそうなところを考えてあげるのが良いと思います。

## 病院

医療事情	良い病院がたくさんある。基本予約が必要だが、小児科はその日に行くことが可能
日本人医師	日本歯科とニューヨークに東京海上診療所がある
薬品	なんでも手に入るが、もし、効きの強さが気になるようなら日本から飲み慣れたものを持っていくほうが良い

## 交流

日本人	学校によっては日本人会のようなものがあり、学校での行事や催し物の手伝いがあった
現地の人	誕生日会や宗教上のパーティ等に呼ばれることがある
駐在外国人	交流なし

## 伝えたいこと

ここグリニッジでは庭にはリスやウサギは当たり前、鹿、ターキー、スカンクなどいろいろな動物がいる環境の中、近くにはビーチもあり、いろんなアクティビティもでき住むのにとっても良い所だと思います。マンハッタンまでも電車で一時間程度なので、週末は美術館巡りやミュージカルを見たりと幅広い経験ができます。

日本のものが一番と書いてきましたが、現地の物で不便ながらの生活を楽しむのも良いと思います。ひとまず行ってみてどうしても日本のものが良いとなったら日本のスーパーへ行くなどするのが良いと思います。娘の話ですが、日本の文房具は人気なので貸すと戻らなかったり、壊されて返ってくるから貸さない方が良いとのことでした。

海外にいと誰もが一番悩むのが子供の教育だと思います。ここグリニッジでは現地校、日本人学校、慶応 NY と他の地域と違って選択肢があります。アメリカなら現地校が一番ということは全くなく、本人にとって何が一番合うのかを考えてあげることが大事だと思います。日本人学校の英語のレベルはとても高く、英語と日本語の勉強の両方、高い水準を手に入れて帰る

ことができます。現地校では得るものも大きいですが、本人にとってはものすごく苦勞をして得ることになります。それが本人にできるのかできないのか、そういう生活が合っているのか合っていないのか、それを考えてあげることが大事だと思います。

海外にいただけでもうすでに大きな経験です。子どもが楽しんでいることで初めて家族が幸せにその生活を楽しむことができると思います。周りの先入観にとらわれず、子供たちにとって、自分たちにとって何が一番なのかを考え、楽しい駐在生活を送られたらと思います。